

環境調査結果のお知らせ

平成25年10月31日午前9時から野見・須崎湾の環境調査を行いましたので、結果をお知らせします。

概況

湾内の環境は、水温20～24℃、塩分23～33、溶存酸素量5～8mg/lでした。
透明度は4～5m前後で、魚類に対して有害なヘテロシグマ・アカシオ及びディクチオカ・スペキュルムが少数確認されました。

水温と塩分(表1・2)

水温は20.3～24.4℃、塩分は23.0～33.2でした。前回調査時(H25.10.15)と比較して、水温は1～2℃低下、塩分は同程度でした。

溶存酸素量(表3)

湾内の溶存酸素量は5.0～7.9mg/lで、前回と同程度でした。

プランクトン(表4・5)

透明度は3.7～5.0mでした。
検鏡の結果、魚類に対して有害なヘテロシグマ・アカシオが最高1cell/ml、ディクチオカ・スペキュルムが最高2cells/ml確認されました。その他、貝類の赤変化を引き起こすミリオネクタ・ルブラが最高2cells/ml確認されました。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、よく洗ったペットボトルに海水を汲む等して、中央漁業指導所か水産試験場まで連絡してください。

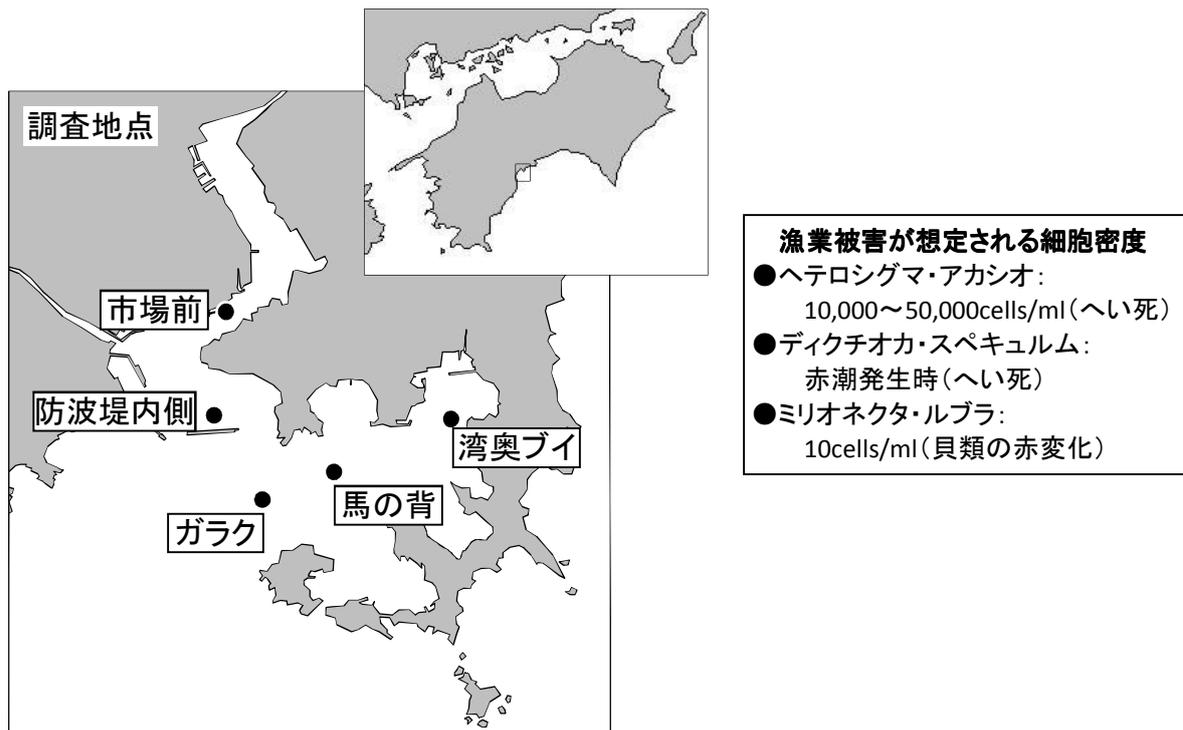


表1 水温(℃)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H25.10.15)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	22.5	23.3	23.2	20.3	23.0	25.1	▲ 2.1	21.5
2m	23.7	23.4	23.5	24.3	23.5	25.2	▲ 1.6	24.1
5m	24.3	23.8	23.9	24.3	24.0	25.3	▲ 1.4	24.3
10m	24.4	24.2	24.3	24.4	24.3	25.6	▲ 1.3	-
B-1m	24.4	24.3	24.4	24.4	24.3	25.5	▲ 1.2	24.3

表2 塩分

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H25.10.15)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	31.4	32.1	31.9	23.0	31.8	32.1	▲ 0.3	25.4
2m	32.0	32.2	32.3	32.0	32.2	32.2	0.0	31.8
5m	32.7	32.5	32.7	32.6	32.6	32.4	0.2	32.8
10m	32.9	32.9	33.0	33.0	32.9	32.7	0.3	-
B-1m	33.1	33.2	33.1	33.1	33.1	32.9	0.2	32.9

表3 溶存酸素量(mg/l)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H25.10.15)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	7.6	5.9	6.4	7.9	6.6	7.2	▲ 0.6	7.2
2m	6.9	5.8	5.9	6.8	6.2	7.0	▲ 0.8	6.1
5m	5.7	5.4	5.6	6.1	5.6	6.1	▲ 0.5	5.8
10m	5.7	5.5	5.8	5.2	5.7	5.6	0.0	-
B-1m	5.0	5.8	5.9	5.7	5.6	5.1	0.5	5.7

※湾奥ブイ・馬の背・ガラクの平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	市場前
水深	16.6	24.1	14.5	16.2	8.0
透明度	3.7	4.0	4.5	5.0	3.3
前回透明度	4.5	3.8	3.8	4.1	3.5

表5 プランクトン(cells/ml)

	ヘテロシグマ・アカシオ	ディクテオカ・スペキュラム	ミリオネクタ・ルブラ	アカシオ・サンガイネア	ジャイロディニウム属 (ドミナンス、スピラレ)	プロトベリディニウム属	ケイ藻類
湾奥ブイ	0m	0	0	0	0	2	10,800
	2m	0	0	0	0	3	10,100
	5m	0	0	0	0	0	5,100
馬の背	0m	0	2	1	0	2	6,200
	2m	0	0	0	0	1	6,000
	5m	0	0	1	1	1	3,700
ガラク	0m	0	0	0	0	0	3,100
	2m	1	0	0	0	0	3,200
	5m	0	0	2	0	2	2,900
津波防波堤内側	0m	0	0	1	0	0	2,100
	2m	0	0	1	0	2	2,600
	5m	0	0	0	0	0	210
市場前	0m	0	0	0	0	1	2,100
	2m	0	0	0	0	0	1,500
	5m	0	0	0	0	0	60